

各都道府県 自然環境担当部局長 殿

環境省自然環境局野生生物課長
(公 印 省 略)

クビアカツヤカミキリに対する注意喚起等の依頼について

平素より外来カミキリムシ類対策に御協力をいただき感謝申し上げます。

外来生物法に基づく特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*) は、国内では 2012 年に愛知県で発見されて以降、2024 年 4 月末の時点で 13 都府県において発生が確認されています。

本虫については、街路樹や生産園地等におけるサクラ、ウメ、モモなどの寄主植物に対しての大きな被害を与えているほか、2022 年を最後に発生都府県数は増加していないものの、発生都府県内において発生範囲が拡大していることを踏まえると、未発生道府県への侵入が懸念されます。

本虫は、5 月から 9 月にかけて、

- ①幼虫の活動が活発になることにより被害樹からフラスが排出されること
- ②成虫が羽化して被害樹から脱出すること
- ③成虫が産卵した卵がブラックライトの活用により見つけやすいこと

から、発生や侵入の確認がしやすくなります。

貴都道府県内におかれましては、関係部局等と連携し、一体となって下記の取組にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、農林水産省及び林野庁から各都道府県の関係部局に対し、クビアカツヤカミキリに関する注意喚起等を実施しているとともに、国土交通省、文部科学省及び子ども家庭庁に対し、同様の注意喚起等の依頼をしておりますので、申し添えます。

記

- 1 クビアカツヤカミキリが発生している都府県においては、別紙 1 を活用し、クビアカツヤカミキリのまん延防止のための適切な防除対策等を講じること。
- 2 クビアカツヤカミキリの発生していない道府県においては、別紙 2 を活用し、クビアカツヤカミキリの発生が疑われる場合には関係機関に通報するなどして、早期発見の取組を講じること。

<連絡先>

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

〒100-8975 千代田区霞が関1-2-2

担当：田中・吉田

直通：03-5521-8344

(参考) クビアカツヤカミキリの防除方法について、森林総合研究所や既に侵入が確認されている自治体において以下の防除対策マニュアル等が策定されております。

- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/documents/5th-chuukiseika12.pdf>

同「クビアカツヤカミキリはすぐそこに」リーフレット

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/documents/leaflet.pdf>

- ・栃木県「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kannkyou/kubiakatsuyakamikiri.html>

- ・埼玉県環境科学国際センター「サクラの外来害虫“クビアカツヤカミキリ”被害防止の手引」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>

- ・東京都「クビアカツヤカミキリ防除の手引き（2023年3月）」

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/400100a20191204115758336.html

- ・大阪府立環境農林水産総合研究所「クビアカツヤカミキリ防除対策の手引書」

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/seibututayousei/kubiaka.html>

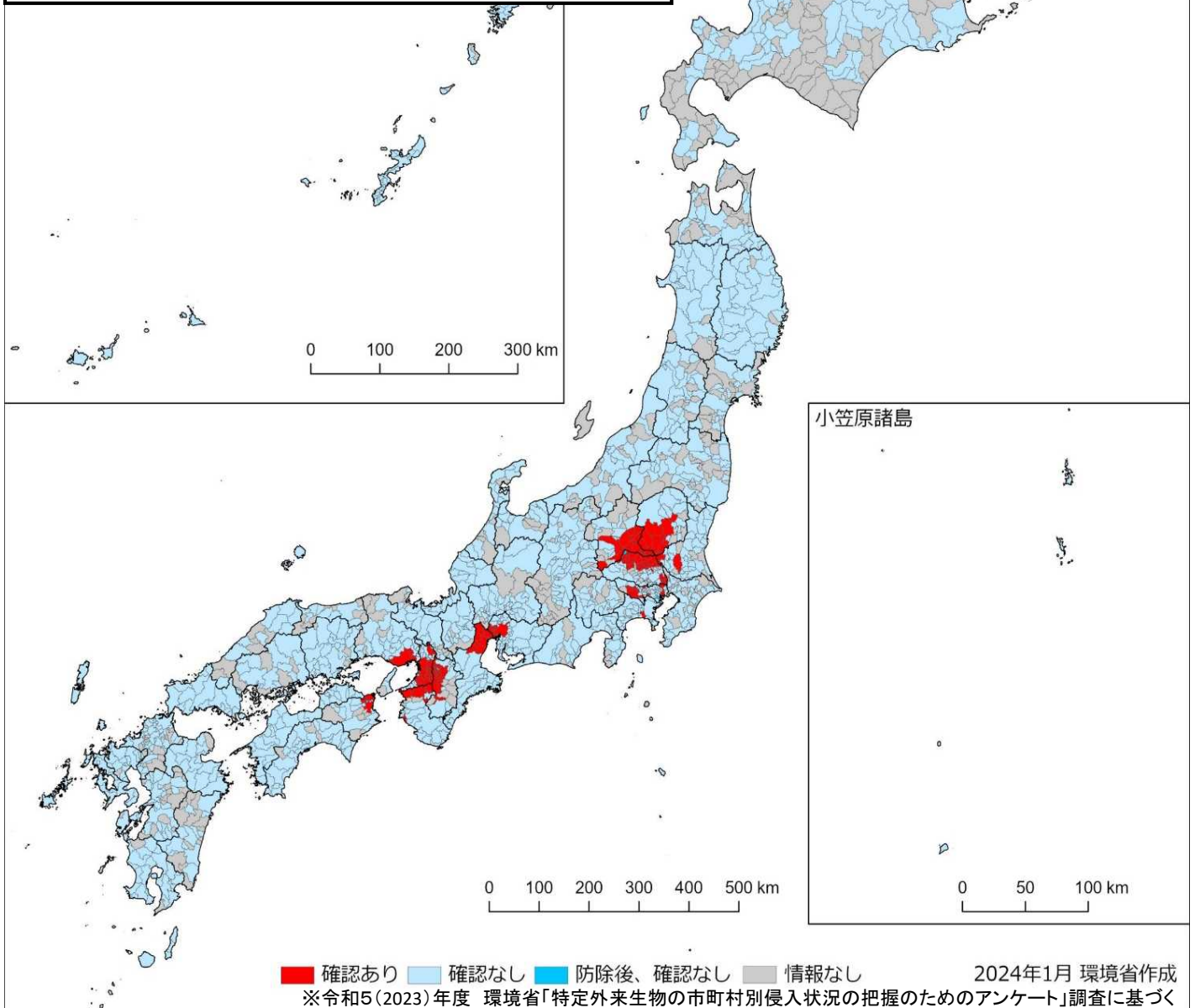
- ・古河市「クビアカツヤカミキリ防除マニュアル」

<https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/material/files/group/21/kubiakabouzyo.pdf>

【お願い】クビアカツヤカミキリの侵入に警戒を！！

クビアカツヤカミキリの発生地域 (市町村単位)

環境省HPから引用、2024年1月末現在



2012年に愛知県で発生が確認されて以降、2024年4月末までに**13都府県に発生が拡大**しており未発生県への侵入が懸念されています。

万が一に未発生県に侵入した場合、**定着を防ぐためには早期発見・早期防除が重要**です！

クビアカツヤカミキリの幼虫(フラス)や成虫の特徴。

クビアカツヤカミキリの特徴

①幼虫(フラス)の特徴(フラスがよく見られる時期:5月~9月)

▷寄主植物:**サクラ、モモ、ウメ、スモモ**など

▷幼虫は**フラス**(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)を**樹から排出**します(右図参照)。

▷木の内部を食い荒らして、加害された木は衰弱し、**やがて枯れて**しまいます。



クビアカツヤカミキリの幼虫

クビアカツヤカミキリのフラス



提供:(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所

②成虫の特徴(発生時期:5月末~8月)

▷全体的に光沢のある黒色で**胸部(クビの部分)が赤い**

クビアカツヤカミキリの成虫

提供:(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所



▷体長:3~4センチ(触角は、含まない)
※見つけた際は、できるだけ踏みつけるなど**その場で駆除**してください。

(生きたまま持ち運ぶことは**外来生物法違反**となります。)

▷成虫が樹に**産卵した卵は、ブラックライトを照射すると発光**し、簡単に発見することができます。

クビアカツヤカミキリの卵に対するブラックライトの照射

提供:栃木県農業試験場 研究成果第42号



①~②の発見があった場合

管轄する**地方農政局**や**地方環境事務所**まで**情報提供**をお願いします。